

地区名	釜戸地区	番号	1
タイトル	東農厚生病院の後利用について		
ご意見の内容			
<p>東農厚生病院跡地が診療所になる可能性はどの程度あるか。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課	
<p>規模についてはお答えしかねますが、可能性は十分あると思います。 瑞浪市内には一次医療を提供する診療所も複数ありますので、病院が遠くなると心配される方々は、それらの中からおかかりつけ医を決めて通っていただくとよいと思います。 病状が悪化する等して、診療所では対応が難しい場合は、二次医療を提供する新病院へ行っていただき、より高度な医療を必要とする場合は、三次医療を提供する名古屋大学附属病院や愛知県がんセンターなどに行ってくださいことになると思います。</p>			

地区名	釜戸地区	番号	2
タイトル	瑞浪駅北に整備する複合施設の文化センターホール機能について		
ご意見の内容			
<p>瑞浪市PTA連合会の会長として、岐阜県研究大会の実行委員長をやらせてもらった際、瑞浪市の文化センターが改修工事で使用できなかった。土岐市の施設を借りて開催したが、他市の施設を借りて行うのには非常に苦労した。また多くの保護者の方にアピールしたいと思うが、駅北に整備されるホールは400人規模になると聞いている。岐阜県研究大会では約780名のPTA会員に来ていただいた。瑞浪市のホール機能を駅北に整備するのであれば、ある程度キャパシティを持たれたほうが良いと考えますがいかがでしょうか。</p>			
市長の回答	担当課	都市計画課 社会教育課	
<p>計画を進めるにあたり、現在の文化センターの利用頻度から分析すると新施設の規模を縮小したとご理解いただきたい。</p> <p>また国の方針により、瑞浪市公共施設等総合管理計画を策定し、現在、市が所有する公共施設の面積を30%以上減らすことを目標としています。計画を策定した当時、市長と語る会でも説明してきました。</p> <p>また大ホールの利用頻度について、600～700人席が埋まる日は、消防団の入退団式、成人式、中京学院大学の入学式、卒業式、市の自主事業のイベントやコンサートです。</p> <p>私も大ホールには、各種イベントの来賓として出席することがあるが大体200～300人の人数で利用いただいています。</p> <p>そのため新施設は、維持管理費も考慮し、適切な規模の施設にしようということで400人程度を検討しています。ただ観客席を固定してしまうのではなく可動式の観客席を設けて、ホールとして使わない場合は、観客席を片付け、ホールを仕切ることで複数団体が利用できるようになり、稼働率が良くなると考えます。</p> <p>おっしゃられる通り、今回整備するホールでは、800人規模のイベントを行うことはできませんが、広域連携で近隣の市町村と施設を共有し使用することは、これからの行政の姿ではないかとご理解いただきたいです。</p>			

地区名	釜戸地区	番号	3
タイトル	釜戸町内にある産業廃棄物処理の業者の排水について		
ご意見の内容			
<p>町内にある産業廃棄物処理の業者の施設が造られて3、40年以上経っている中、排水による土壌汚染が進んでいるのではないかと考える。</p> <p>側溝に泡が多く出ていたので、管理されているのか不安である。今後新しい施設もできると聞いているのでそちらも不安である。</p>			
市長の回答	担当課	環境課	
<p>釜戸町の地元市議会議員が県と連携し、調査をしてくれましたので、一定の判断を県がしました。改めて、皆さんが納得していただけるような調査をするよう県に要請していきます。</p> <p>今の施設に関しては、新しい経営者の方がその後引き継ぎ、管理責任をもってやっていただくよう協議し、今日まで来ているとご理解いただきたいと思います。</p> <p>また釜戸町には環境対策委員会があり、その委員会において環境管理や町内の監視をしていただいています。しかしながら、処分場等の交渉については時間がかかります。対策委員会のメンバーは区長会長や副区長会長さんであるため、引継ぎをしっかりと行う必要があると考えます。</p>			

地区名	釜戸地区	番号	4
タイトル	外国人の移住について		
ご意見の内容			
外国人の移住や定住を考えているか。			
市長の回答	担当課	企画政策課	
<p>現在、瑞浪市には約1200人の外国人が住んでいます。瑞浪市においても、世界中から外国人を受け入れていかないと経済が成り立たないと考えています。そのため市では英語や中国語などの外国語の資料を用意し、お渡ししており、窓口でも職員が英語や中国語で対応させていただいています。</p> <p>外国人が瑞浪市に住みたいと思えるような環境をこれからもつくっていきます。</p>			

地区名	釜戸地区	番号	5
タイトル	6月2日の豪雨の修復等の状況について		
ご意見の内容			
<p>6月2日の豪雨で県道の崩壊等もあり、復旧はまだ先になると思いますが修復状況を教えてください。</p>			
市長の回答	担当課	土木課	
<p>6月2日の釜戸町内の災害では、6月8日までの1週間で、倒木2件、土砂撤去7件、応急措置が必要なもの1件、修繕が必要なもの3件の合計13件の通報をいただきました。その後も雨の強い日があり、7月20日までに新たに倒木5件、土砂撤去2件、応急措置が必要なもの2件、修繕が必要なもの7件の合計16件報告いただき、そのほとんどを既に対応しております。</p> <p>県道の修繕は、渇水期となる令和5年11月から令和6年5月にかけて工事していきたいと県から報告を受けているので、市としても協力していきます。</p> <p>皆さんの身近な災害対応はすべて終わっているとご理解いただければと思います。</p>			

地区名	釜戸地区	番号	6
タイトル	化石発掘の野外体験学習地について		
ご意見の内容			
<p>釜戸町下切のパレオパラドキシアの化石が発掘された場所に化石発掘の野外体験学習地を整備して利用できないかと考える。</p>			
市長の回答	担当課	スポーツ文化課	
<p>現在の野外体験学習地はどんどん掘り進めている影響で面積が狭くなってきています。そのため、下切が化石発掘の適地であるか調査させていただきます。適地であると判断した場合、野外体験学習地として活用しようと考えます。</p> <p>【補足】 調査の結果、釜戸町における化石を包含する地層の分布状況につきましては、土岐川の河床周辺に散在（限られた範囲に点的に存在）している状況であり、長期間にわたり安定的に化石採集を行うことは困難であり、また、これらの地層は河床に露出しており、化石を採集するには長靴等を着用して河川に入る必要があることから、誰もが安全に、かつ何時でも自由に化石採集を行うことも困難であるため、野外体験学習地としては不適と判断しました。</p>			

地区名	釜戸地区	番号	7
タイトル	今後の小学校の在り方について		
ご意見の内容			
<p>小学校の適正化という問題を今後考えていかなければいけないと思う。現在考えている今後の方針を教えて欲しい。</p>			
市長の回答	担当課	学校教育課	
<p>釜戸町では、令和7年度に2年生、3年生が複式となります。そして、陶町や日吉町でも今後複式学級となっていきます。また、中学校については、瑞浪北中学校は十分クラス、生徒数を維持できていますが、令和11年度に瑞浪南中学校は1学年1クラスとなります。統合する当時、大きなテーマとしてクラス替えができる規模の学校にしたいという考えがありました。</p> <p>市として、昨年から今年にかけて学区制審議会を設置し、小学校と中学校のあり方の議論をしていただいております。近々、その審議会より答申をいただく予定ですので、そこで出た結論を尊重していきます。</p>			